

「親の学び」次世代編 実践事例紹介

～水俣市立水俣第一中学校における実践～



【芦北教育事務所発】

学級活動における

次世代編「コペルニクスの発想法 ～気になるところはいいところ～」の活用

講座の様子



【アイスブレイクの様子】



【逆転の発想を使って考えている様子】



【話し合った内容を紹介している様子】



【学習を振り返っている様子】

【授業の流れ】 ※学級担任による講座

- ① アイスブレイク後、学習のねらいを確認する
- ② 自分の長所と短所について、グループ内で紹介する
- ③ 「逆転の発想」について、担任の説明を聞く
- ④ グループ内でそれぞれの短所について、逆転の発想を使って考え、話し合った内容を紹介する
- ⑤ ある事例について、逆転の発想を使って全員で考える
- ⑥ 学習を振り返る
- ⑦ まとめ（「親の学び」プログラムトレーナー）

【生徒の感想】

自分に自信がなく、逆転して考えられるのか不安だったが、班のみんながちゃんと考えてくれたので嬉しかったし、私もちゃんと考えてみようと思った。短所を「逆転の発想」で考えてみたことがなかったので、ポジティブってこんな感じなのかなと少し分かった気がする。

長所・短所ともに自分の特徴だから、短所も受け入れて自分の性格を大事にしたいと思った。

自分の短所をポジティブに考えることも大事だと思うけど、短所が長所になるようにがんばりたいと思う。

自分を知り、相手を知ることが大切と思った。だれかがネガティブなことを言ったら、ポジティブに言い換えてあげたい。人に対して多様な見方をできるようにになりたい。

これから先、いろいろ悩んだり、人と比べてしまったりすることがあるかもしれないけど、「やればできる!」「『自分にはできない!』とも言い切れない!」という前向きな精神で、何事もポジティブに考えていきたい。

【参観者の感想】

- これまで、次世代の親たちを育むという視点がありませんでしたので、これを機に取り入れてみたい。(授業者)
- 「親の学び」次世代編の講座を初めて見学した。生徒は活発に話し合いや発表をしていた。(市教委)
- ゲストティーチャーの話によって、生徒は更に視野を広げて考えたり、深めたりすることができた。(授業者、参観者)